

一般質問



谷口 議員

○平成31年度予算並びに施政方針について

質 平成31年度の予算編成でどのような点に意を配したか。また「ともだビジョン」の具現化はどのようになされたか。

市長 財政状況が非常に厳しい中、健全な行財政運営との両立を目指しつつ、継続している重点事業を着実に推進することを基本に、第2次総合計画策定事業、地域情報化基盤整備事業、アジフライの聖地松浦推進事業、各種産業振興事業、ウッド・スタート事業など「ともだビジョン」に掲げる施策を着実に次の段階に進めるため、優先的な予算の配分に意を配しました。

質 限られた予算を効果的に活用していくためには、選択と集中を徹底する必要があると考える。その視点が予算編成においてどのように反映されているか。

市長 投資的事業については、必要性、緊急性、費用対効果及び後年度の財政負担等を精査し、優先順位をつけて事業の重点化を図りました。地域活性化に繋がる施策は、各種交付金などを最大限活用し、戦略的、効果的に推進することを念頭に予算編成

を行いました。

質 経常収支比率などの数値にも表れているように、本市の財政は非常に硬直化している。引き続き財政の健全化を進めていく上でどのように取り組んでいけるか。

総務課長 人口や交付税の減少による歳入の減少が大きく影響しています。中・長期的な財政収支の見込みをもとに、歳入に見合った歳出となるよう歳出全般にわたる見直しを進める必要があります。

○地域産業振興に向けた本市の取り組みについて

質 観光は重要な産業として位置付けられる。神崎遺跡やモンゴル村などは本市観光産業の核となるものであると考えるが、有効に活用していくためにも施設整備等を含めて検討すべきではないか。また、モンゴル村の本格的運営再開に向けて本市としてどのような取り組みを行っているか。加えてそのような点も踏まえ、観光産業の振興をいかにお考えか。

市長 旧町時代を含め、合併後も投資を行ってきましたが、今後は原則として施設整備は行わない方針です。市としては知名度を上げるため、PRの取り組みを行ってきました。他地域に誇れる鷹島の歴史と自然、そして食を繋ぐことによって交流人口を増やし、地域の活性化を進めていきたいと考えています。

一般質問



武部 議員

○つばき荘の運営について

質 つばき荘の運営について質問をいたしました。運営が厳しい原因として①温泉設備の不備②客室にお風呂やシャワーがない③宴会場が狭いなどの理由から赤字が避けられない、赤字削減のためには施設改修の必要性がある。お客のニーズとして、最近では女性客や外国人が増えているので、部屋に風呂やシャワー設備は必要不可欠なものである。赤字の原因である施設の根本的改修を早急に行うべきであり、財源がないからと言って改修しなければ、指定管理料の無駄となるばかりである。市長の見解を伺います。

市長 市長就任以降、指定管理業者と面談し、今後の方針を話してきました。これを踏まえて指定管理料を支出し、適切に運営していただくこととしております。つばき荘を利用していただく方をいかに増やすか、どういった魅力を高めていくかといったことについて、側面的な支援をすることが必要と考えます。こういった状況を見ながら必要であればその先の検討についてその時点で考えます。

○上下水道の今後について

質 松浦市上下水道の今後について、水道民営化を含む水道法改正案が可決され、話題になっている。市民は安心安全な水の提供を受けられるのか心配しています。市は上下水道の民営化についてどのように考えているのか。

上下水道課長 現段階では、まずは自らの経営等についての確な現状把握を行った上で、中長期的な視野に基づき計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営健全化を図るなど、公営企業として責任ある経営を継続していくことが重要と考えます。

質 松浦市の水道管が敷かれて50年が経過し、老朽化が進んでいると思われる。水道管の交換には1km当たり1億円もの費用がかかると言われているが、人口減少が進む松浦市での今後の財政状況の見通しについて伺います。

上下水道課長 人口減少に伴い料金収入も減少する見込みです。一方で老朽化する施設や管路の更新需要は増大するため、計画的な施設等の更新が必要です。簡易水道事業等との経営統合に伴い欠損金の発生も見込まれますので、財源の確保が最重要課題です。

このほかに、「下水道について」質問しました。